

水道事業

経営戦略に基づく令和4年度の目標及び取組みについて

令和4年度予算の概要

1. 収益的収支

(単位:千円 税抜き)

項目	令和3年度(A)	令和4年度(B)	比較(B-A)	増減率
収益	4,498,367千円	4,587,973千円	89,606千円	102.0%
費用	4,401,286千円	4,530,686千円	129,400千円	102.9%
純利益	97,081千円	57,287千円	△39,794千円	59.0%
経常収支比率	102.8%	101.8%	△1.0%	—

2. 資本的収支

(単位:千円 税込み)

項目	令和3年度(A)	令和4年度(B)	比較(B-A)	増減率
収入	2,417,403千円	1,395,845千円	△1,021,558千円	57.7%
支出	4,037,532千円	3,185,641千円	△851,891千円	78.9%
収支差引	△1,620,129千円	△1,789,796千円	△169,667千円	110.5%

計画の推進【経営指標】

指標名	算定方法	望ましい方向	見込 R3	目標値 R4	経営戦略			
					前期		中期	後期
					R4	R5	R8	R12
有収率	$\frac{\text{有収水量}}{\text{配水量}}$	↑	89.7%	89.7%	⇒	89.2%	89.5%	90.0%
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	↑	109.0%	109.2%	107.4%	104.6%	102.1%	100.0%
企業債残高対給水収益比率	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}}$	↓	199.6%	200.8%	274.8%	288.0%	316.1%	353.5%
企業債残高(億円)	年度末時点残高	↓	85.3億円	85.0億円	113.2億円	117.6億円	126.1億円	137.3億円

表 経営指標

令和4年度の主な取組事業（水道事業）

【安全】給水装置の安全性強化

取組み：貯水槽水道者への指導と情報提供

貯水槽水道者への指導と情報提供

113千円

啓発チラシ・調査票を送付し、回答を基に電話での聞き取りや現地立会による指導を行います。その結果により、貯水槽の状態を把握し、設置者に改善を指導します。



【安全】給水装置の安全性強化

取組み：給水装置工事の適正な施行の確保

給水装置工事の適正性の確保

給水装置工事事業者の指定制度をより適正に運用するため、福岡県南水道技術協議会が主催する「指定給水装置工事事業者研修会（3年毎に開催）」について、計画期間内に受講率100%を目指します。



【安全】水道利用の促進

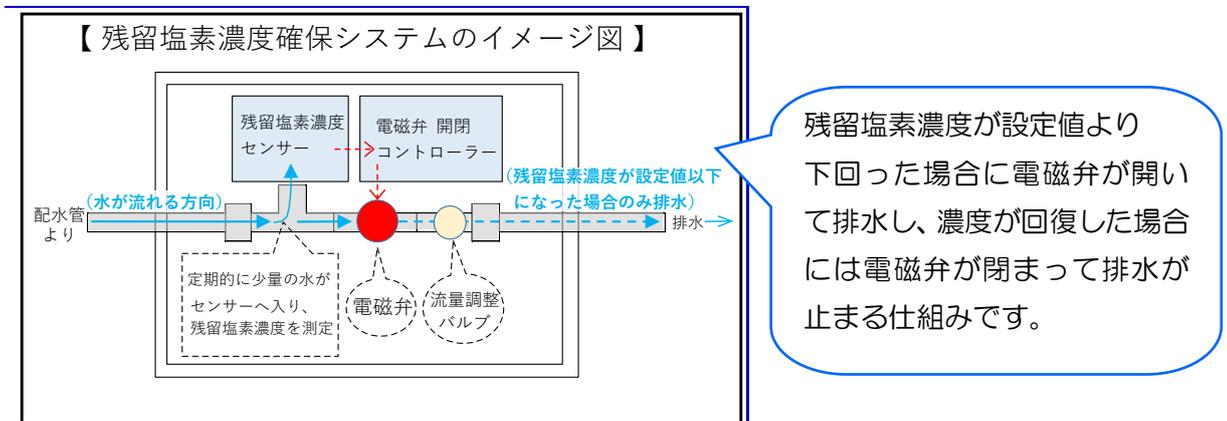
新規

取組み：田主丸地区への水道の普及

残留塩素濃度確保システムの導入 10,400千円

田主丸地区では、整備とあわせて水道水の利用促進に取り組んでいるものの、使用率が伸び悩んでいることから、水道水に含まれる残留塩素濃度を保持するために、水道管の末端から水道水を排出する通称『捨て水』を行い、水質を確保しています。

しかしながら、経営的な視点から『捨て水』が多く発生している事が課題となっているため、本システム導入による『捨て水』の抑制を令和4年度に行います。



【強靱】防災・減災対策の推進

取組み：浄水施設等の耐震化・更新

2系2号沈殿池機械設備更新工事 114,136千円

放光寺浄水場 2系沈殿池に設置している汚泥掻寄機・緩速攪拌機はS60年の設置より約36年が経過していることから老朽化対策を実施します。

- ・汚泥掻寄機（3連1駆動）1基更新
- ・緩速攪拌機 2系2号池駆動装置3台更新



沈殿池内部写真



掻寄機内部写真

【強靱】防災・減災対策の推進

取組み：浄水施設等の耐震化・更新

放光寺浄水場排水処理加圧脱水機整備 40,180千円

放光寺浄水場排水処理施設において、H16年設置の加圧脱水機の正常な機能を維持するために修繕を実施します。（本体整備及び試運転調整）



加圧脱水機（正面）



加圧脱水機（ろ布）

【強靱】防災・減災対策の推進

取組み：災害に強い管路への更新

南部配水本管耐震化 300,000千円

南部配水本管の経過年数は、約60年となっており、耐震性能が不足している状況です。平成25年度までに南部配水本管の一部(4.5km/6.5km、69.2%)の耐震化が完了し、今後は耐震化が完了していない2.0kmの耐震化を実施します。

- ・令和4年度工事延長：650m
- ・令和4年度基幹管路耐震適合率：52.3%
- （令和4年度南部配水本管整備進捗率：79.2%）



工事中的様子

【強靱】防災・減災対策の推進

取組み：災害に強い管路への更新

ビニル製配水管更新

337,120千円

破損しやすく年間の漏水件数の約7割を占めているビニル製配水管のうち、被害が甚大になりやすいφ150～φ75mmを優先的に、耐震性能を有するダクタイル鋳鉄管へ更新します。

- 令和4年度
ビニル製配水管更新工事：3,535m
- 令和4年度末更新率見込：20.8%



ビニル製配水管の漏水状況

【強靱】危機管理の強化・充実

取組み：管路のループ化の検討

ループ化工事（国道3号バイパス）

45,900千円

小森野・宮ノ陣地区の給水圧力の安定及び災害時等における断水に対応するため、国の道路築造工事の進捗にあわせて、国道3号バイパスの配水本管ループ化を実施します。

- 令和4年度工事延長：270m
- 令和4年度整備進捗率：29.4%



【持続】水道事業の基盤強化及び広域化

取組み：漏水防止対策の推進

第17次漏水防止計画に基づく漏水調査 11,500千円

管種・口径・整備年度を参考にして調査対象を抽出した漏水防止計画に基づき、効果的に漏水調査を実施します。

また、地下漏水を早期発見し修繕することで、道路陥没等の二次災害の防止や、水道水の安定供給と有収率の向上を図ります。

- ・令和4年度調査延長：301km
(直営調査：110km 委託調査：191km)



漏水調査の実施状況

【持続】水道事業の基盤強化及び広域化

取組み：経営効率化の推進

新規

栗林配水池跡地施設撤去検討業務 10,000千円

栗林配水池は、水道事業創設以来、稼働を続けておりましたが、施設の老朽化により昭和60年に放光寺浄水場に統合し、現在は用途を廃止した施設です。

令和4年度は、栗林配水池跡地に残存する配水池の状態を調査し、配水池解体（撤去）の範囲や方法について検討を実施します。



栗林配水池の構造物残存状況（上部より）

【持続】水道事業の基盤強化及び広域化

新規

取組み：経営効率化の推進

水道スマートメーターの導入検討

水道スマートメーター（自動検針）導入を検討します。
令和4年度に上下水道料金等関連業務委託により市内約30箇所の導入準備を行い、
令和5年度に試験導入を行います。



【持続】水道事業の「見える化」の推進

新規

取組み：久留米の水のイメージアップ

給水スポットの設置

4,650千円

水道水の味や安全性のPR および飲料化を推進し、また夏の熱中症対策、マイボトル
利用による温室効果ガス・プラスチック廃棄物の削減を目的として、給水スポット（給
水機）を整備します。



福岡市科学館の給水スポット



八女市総合体育館の給水スポット